

**製品名: VPS72 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab19838**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

## 抗原情報

遺伝子名	VPS72
別名	VPS72; TCFL1; YL1; Vacuolar protein sorting-associated protein 72 homolog; Protein YL-1; Transcription factor-like 1
遺伝子 ID	6944.0
SwissProt ID	Q15906
免疫原	抗血清はヒト VPS72 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

## 背景

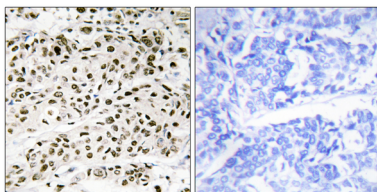
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヒストンアセチルトランスフェラーゼ複合体 TRRAP/TIP60 とクロマチンリモデリン

グ複合体 SRCAP 含有複合体という 2 つの多成分複合体の共有サブユニットです。TRRAP/TIP60 複合体は、転写調節、二本鎖 DNA 切断修復、アポトーシスに重要なヌクレオソームヒストンをアセチル化します。SRCAP 含有複合体は、ヒストン H2A とヒストンバリエーション Htz1 (H2AFZ) のヌクレオソームへの交換を触媒します。このタンパク質は、染色体分離に關与する H2AFZ への結合に關与している可能性があります。また、このタンパク質は、造血幹細胞の長期的な活性を制御する役割も担っている可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012 年 8 月]、機能: DNA 結合転写調節因子である可能性があります。クロマチンの修飾とリモデリングに關与している可能性があります。、PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性: VPS72/YL1 ファミリーに属します。、サブユニット: NuA4 ヒストン アセチルトランスフェラーゼ複合体の構成要素で、触媒サブユニット HTATIP/TIP60 とサブユニット EP400、TRRAP/PAF400、BRD8/SMAP、EPC1、DMAP1/DNMAP1、RUVBL1/TIP49、RUVBL2、ING3、アクチン、ACTL6A/BAF53A、MORF4L1/MRG15、MORF4L2/MRGX、MRGBP、YEATS4/GAS41、および VPS72/YL1 が含まれています。NuA4 関連複合体の構成要素であり、EP400、TRRAP/PAF400、SRCAP、BRD8/SMAP、EPC1、DMAP1/DNMAP1、RUVBL1/TIP49、RUVBL2、アクチン、ACTL6A/BAF53A、VPS72、および YEATS4/GAS41 を含む。また、SRCAP を含み、H2AFZ/H2AZ に結合する多タンパク質複合体の一部でもある。

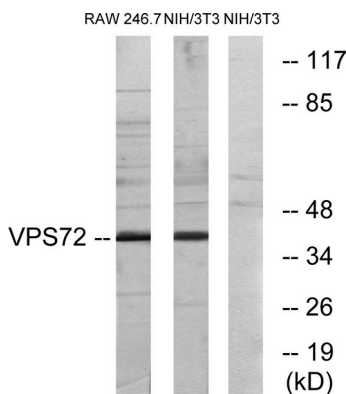
## 研究分野

幹細胞経路; タンパク質アセチル化

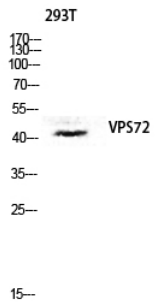
## 画像データ



VPS72 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



RAW264.7 細胞および NIH/3T3 細胞のライセートを VPS72 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



VPS72 抗体を用いた 293T 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。